科目名	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者
英語科授業研究		高村博正

小学校の先生になったあなたが、もし子どもたちに英語を教えることになれば何をどう教えればよいでしょうか。どれほどの 英語力が必要なのでしょうか。あなたはいまからその英語力を習得できるでしょうか。このクラスでは英語の4技能(書く、話 す、読む、聴く)をバランスよく練習します。英語の指導案と具体的な児童英語教育法も説明します。

## 授業の概要と目標

インターネットを使って以下の演習を行います:①Free Quick Writing (10分間でどのくらい英語が書けるかをみます。び っくりするほど英語が書ける自分を発見します)。同時に、「文法度」と「内容度」を自己評価し、上記3種類の「成績」は表計 算ソフトの Excel に記録し、グラフ化します ②リスニング(個人とグループで英語の書き取り) をします③インターネットの フリー英語訓練サイトを利用して、虫食い・3択テストをします。 ④現代GPの Moodle 添削・指導支援システムを利用します。

## 評価方法

毎回の実習成果が評価の対象になります。毎回の評価点(100点満点)の積算を講義回数で割り、その6割以上獲得が評価の 基礎点。優良可の評価は従来通り。欠席は-20点を加算。遅刻は当日の得点を半減。学生──教師の相互評価を行います。

テキスト 高村私家本を使います。	著者	出版社
参考書 授業の最初にリーディング・リスト (読むべき参考文献表) を配布します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1.入門講義と自己紹介 日本語と英語で簡単な自己紹介。Excel表の「自己成績管理表」を配布します。		

- 2. パソコンの使い方
- 3. Free Quick Writing
- 4. リスニングのコツ(1)
- 5. リスニングのコツ(2)
- 6. リスニングのコツ(3)
- 7. 英語での会話実習(1)
- 8. 英語での会話実習 (2)
- 9. 英語での会話実習(3)
- 10. Moodleによる実習(1)
- 11. Moodleによる実習(2)
- 12. Moodleによる実習 (3)
- 13. 教養としての英米文学(1)
- 14. 教養としての英米文学(2)
- 15. 教養としての英米文学(3) 16. ゲスト・ティーチャー (1)
- 17. 通常訓練の解説
- 18. 通常訓練(1)
- 19. ゲスト・ティーチャー (2)
- 20. 通常訓練(2)
- 21. 通常訓練(3)
- 22. 通常訓練(4)
- 23. 通常訓練(5)
- 24. ゲスト・ティーチャー (3)
- 25. プレゼンの実習
- 26. 通常訓練(6)
- 27. 通常訓練(7) 28. 通常訓練(8)
- 29. 最終試験準備説明
- 30. 最終講義

- 実習に必要なインターネット操作を練習します。
- 自由に英語を書く訓練をします。字数と文法度と内容度を記録します。
- 英語の聞き取り訓練をします。自分の録音を自分で書き取ります。
- 自分の録音をクラスメートが書き取ります。
- グループで英語文を聞き取り、共同作業による聞き取り演習をします。
- いわゆる「英会話」を行いますが、それが最終目的ではない点を解説します。
- 意味群としてのメッセージ伝達の重要性を解説します。これが本当の英会話です。
- 英語によるプレゼンテーションの実習をします。英語世界での重要な能力です。
- 時・場所・環境を超えた学習のチャンスを体験します。添削を中心にします。
- 時・場所・環境を超えた学習のチャンスを体験します。過去の添削を利用します。
- 時・場所・環境を超えた学習のチャンスを体験します。同時相互評価を利用します。
- 英語の絵本の読み方・楽しみ方を解説します。英語の裏にある文化を知ります。
- 英語による文学作品(短編)の読み方を実習します。英語の裏にある文化を知ります。
- 英語映画の鑑賞の仕方を実習します。英語の裏にある文化を知ります。 英語の使い手・達人をゲストに呼び、実際の生きた英語に接します。
- 英語4技能をバランスよく実習する基本姿勢と方針を説明します。
- 英語の4技能を効果的に実習します。
- 英語の使い手・達人をゲストに呼び、実際の生きた英語に接します。
- 英語の4技能を効果的に実習します。
- 英語の4技能を効果的に実習します。
- 英語の4技能を効果的に実習します。
- 英語の4技能を効果的に実習します。
- 英語の使い手・達人をゲストに呼び、実際の生きた英語に接します。
- 英語による簡単なプレゼンテーションの方法を実習します。
- 英語の4技能を効果的に実習します。
- 英語の4技能を効果的に実習します。
- 英語の4技能を効果的に実習します。
- 一年間の授業と実習の総決算を行います。最終試験の説明をします。
- Free Quick Writingの成果をグラフにして提出します。最終試験。
- ★「ゲスト・ティーチャー」は「実戦アクセス講義」の一環として行っています。